

第401回 産業事情検討会

地経学で展望する世界の地殻変動

— 経済が武器化する時代の戦略思考 —

講師：鈴木一人氏

地経学研究所 所長
東京大学公共政策大学院教授

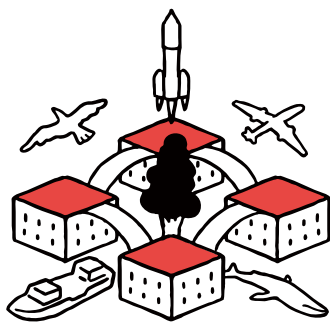
司会：大槻裕志

(株)現代経営技術研究所 所長

2026年5月27日(水)

15:00~17:00

Zoom によるオンライン開催

講師プロフィール
鈴木一人氏
(すずきかずと)

1970年、長野県生まれ。95年、立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了、2000年、英サセックス大学ヨーロッパ研究所現代ヨーロッパ研究専攻博士課程修了。北海道大学公共政策大学院教授、米プリンストン大学国際地域研究所客員研究員、国連安保理イラン制裁専門家パネル委員などを経て2020年から東京大学公共政策大学院教授、22年から

地経学研究所長。12年『宇宙開発と国際政治』で第34回サントリー学芸賞受賞。

著書：『地経学とは何か』（新潮社 2025年）、『技術・環境・エネルギーの連動リスク』（岩波書店 2015年）、『EUの規制力』（遠藤乾氏と共編、日本経済評論社 2012年）、『宇宙開発と国際政治』（岩波書店、サントリー学芸賞 2011年）、『Policy Logics and Institutions of European Space Collaboration』（Ashgate Publishers, 2003）、『グローバリゼーションと国民国家』（田口富久治氏と共著、青木書店 1997年）など。

今回は鈴木一人氏を講師にお迎えし、今後もさらに激化する世界の地殻変動の構造を地経学の視座から検討します。

地経学とは「地政学」の世界に経済安全保障やエコノミック・ステイトクラフトの概念を取り入れたアプローチであり、国際政治学の第一人者である氏が提唱して既に各界に大きな影響力を及ぼしています。

氏のお話をうかがい、トランプ政権とイランの葛藤から、半導体、AI、資源まで私たちが直面している危機の諸様相を地経学のアプローチで読み解き、日本企業が生き抜く視座を形成したいと思えます。

ご参加をお勧めします。

- I. 地経学とは何か—経済が武器化する時代の戦略思考
- II. 地経学から見た産業の地殻変動
—半導体、IT、AI、資源問題等
- III. 現在の戦争を地経学で読み解く
—ロシアのウクライナ侵攻、イランVS米国・イスラエル、台湾有事の可能性等
- IV. 経済制裁と地経学
- V. 講師提言：日本と日本企業が地経学的に生きていく道
- VI. 質疑応答

